

第35回 そうだったのか！シグマの学べるニュース

お客様 各位

この定期配信も御客様にとっても御好評を頂きましてありがとうございます。これからもみなさんのお役に立つ様にみなさんの疑問を解決し、有効な情報をお送りして行きたいと思っております。

Q 新車納車延期と中古相場への影響 パート2

回答：

前回の34回で高年式の車輛の買取金が5~10%で値上がり中との話をさせて頂きました。その後も高年式の車輛に関しては値上がりが続いています。人気の高い日野の大型の車輛などの高年式に関しては新車価格程度になってるケースもあり購入を検討されているお客様には重い負担となっております。我々としても玉不足から仕入価格が上がっており販売価格にそのまま上がった分を転嫁する事もできない事から不安定な時期を過ごしております。

運送会社様にとっては、新車代替で10年落ちの車輛を売却するのに新車が無いからと10年落ちの中古を代わりに買う必要はなく、新車が納車されないのであれば現状の車輛をもう一度車検を伸ばす事になります。代替を控えた分、マーケットに出る車輛が減り中古トラック需要は一定数あるのでバランスが崩れて値上がりしている感じです。小型中型大型や形状は問わず売れ筋の車輛は玉不足から相場が値上がりしています。お客様側でも計画的に納車がされなければ計画的な償却が取れず予定外の利益が出てしまい困るとの声もありました。

我々中古車両業者にとってはマーケットはどこかのタイミングで通常相場に戻るわけで、そうすると高い相場の時に仕入れた車輛が含み損として在庫リスクになってしまうので、こういった時期はとて在庫調整に気を使います。売ってもらったは良いが大量の長期在庫が置き場を占領しては意味がありませんので。(涙)

また円安から運送会社様にはプラスの影響がでてきており輸出向けの車輛などは円安になり海外バイヤーなどから購入が活発になってきています。米国の利上げに対して日本は金利を上げられる状態ではないのでしばらく貿易相場は続くのではないのでしょうか。

まとめますと、車輛を売るのであれば高年式車輛は玉不足からの相場上昇、貿易車輛も円安からの相場上昇しています。売却を検討してる、稼働率が低い車輛などがあればまずはご相談だけでもしていただければと思います。不動車、故障車も自社レッカーがありますので対応可能です。中古車両購入検討の方もいれば全ての車輛が高いわけではないので一度ご相談ください。よろしくお願いたします。

査定のご依頼、お問い合わせお待ちしております！！

本社 横浜 名古屋 神戸 福岡 を拠点に全国対応中！！！！

シグマ インターナショナル株式会社 本社 神奈川県横浜市中区日本大通り18 KRCビル7F
TEL : 045-680-1742 FAX : 045-228-8490 e-mail: info@sigmaintl.jp

～トラックの正しい査定・確かな金額～